

『ヒト疾患特異的iPS細胞の作成と
それを用いた疾患解析に関する研究』

研究内容の説明

京都大学医学部附属病院
京都大学iPS細胞研究所

はじめに

臨床研究とは？

- 病気の原因を明らかにするためや病気の予防、診断、治療方法の改善等のために、人を対象として行われる研究です。
- 当病院では健康なボランティアの方や患者さんにご協力頂き、臨床研究をおこなっています。



臨床研究は普段の治療と比べ、異なった一面をもっていますので、あらかじめ十分ご理解ください。

目的

様々な病気の原因を調べたり、
有効な治療を見つけ出すための研究として、
あなたから血液をご提供頂き、そこから
iPS細胞を作りたいと考えています。

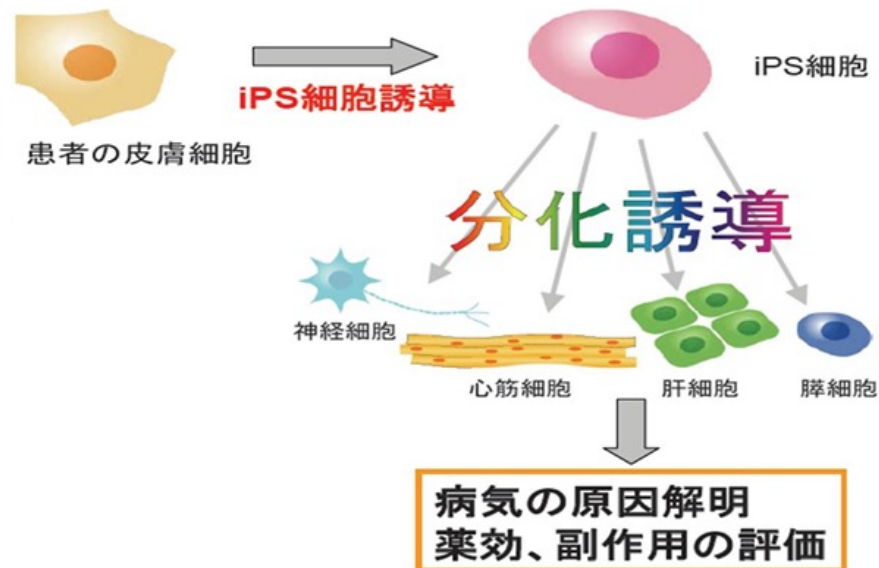
研究課題名：

ヒト疾患特異的iPS細胞の作成と
それを用いた疾患解析に関する研究

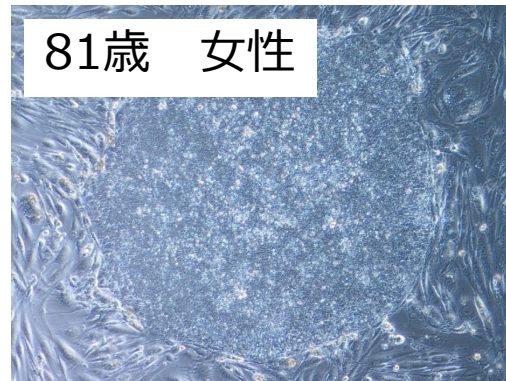
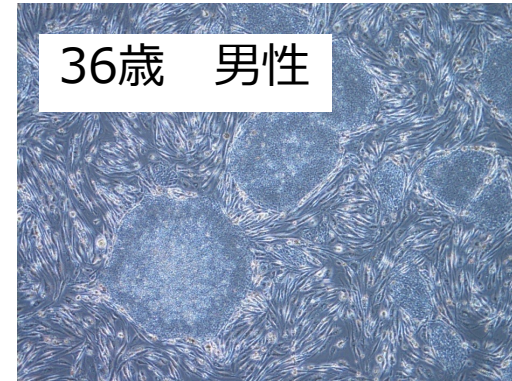
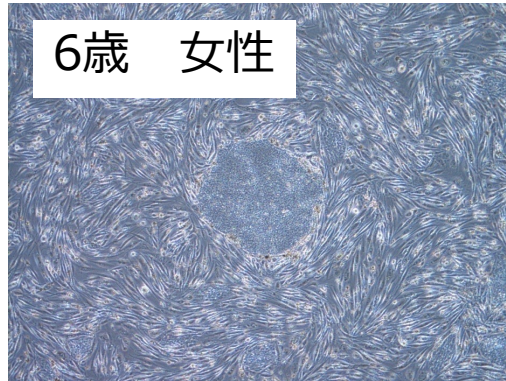


iPS細胞とは？

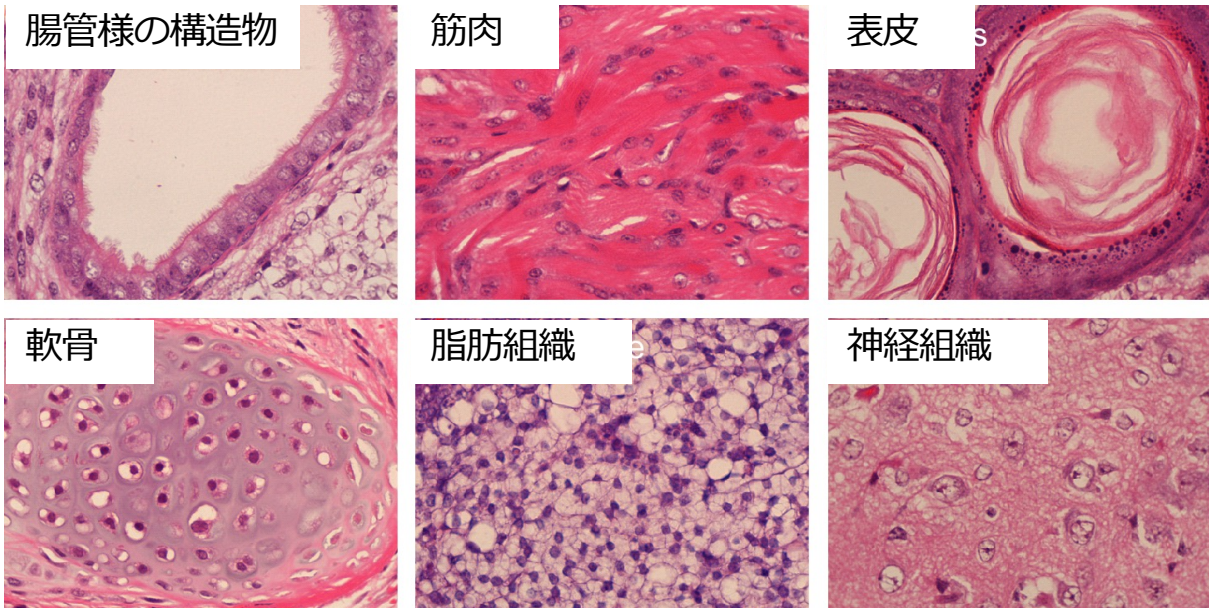
人工多能性幹細胞（induced pluripotent stem cell）私達の体を構成する様々な組織に分化することができる細胞です。
この性質を応用し、例えば、肝臓の病気を調べたい時には、培養皿の中で肝細胞へ分化させ、そこから病態を再現することで、原因を解明することができます。



日本人由来iPS細胞



iPS細胞の分化能



高橋和利先生より

研究の方法

研究内容の説明、同意取得

(主な実施場所：医療機関)



組織（血液）採取

(主な実施場所：医療機関)



iPS細胞樹立

(主な実施場所：研究所)



iPS細胞を用いた研究

(主な実施場所：研究所)

血液採取について

感染症検査

研究にあなたの血液を用いることが適性であるかどうかを確認するために、血液による所定の感染症検査を実施させていただきます。結果を踏まえてiPS細胞を作製するかどうか決定させていただきます。

iPS細胞の作成用

通常の採血と同じ方法で、約10～30mL程度採血します。

予想される利益・不利益について

利益

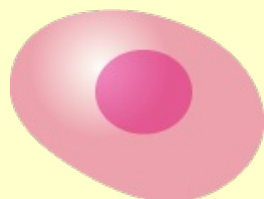
この研究にご参加・ご協力頂いたことによって、あなた自身が何らかの利益を受けることはありません。

不利益

予想される不利益としては、個人情報の漏洩によるプライバシーの侵害が考えられますが、**仮名加工により個人情報を仮名化し、**守る工夫を行い、情報がもれないようその管理に最善を尽くします。

プライバシーの保護について

個人情報 は 厳重に 保護 します



あなたのiPS細胞

【iPS細胞の情報】

1. 氏名
2. 住所
3. 生年月日

仮名加工

対応表で
管理

【iPS細胞の情報】

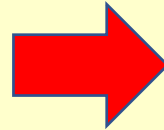
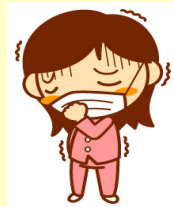
1. ●●-△5B
2. ×××
3. ×××



作製したiPS細胞については、あなたのお名前、ご住所などの個人情報を削り、代わりに新しい符号が付けられます。（**仮名化**といいます）この研究に携わらない個人識別情報管理者が管理するため、プライバシーに関わることは一切公表されません。

健康被害が発生した場合

この研究に参加・協力したことで、何らかの障害または病気などあなたの健康に被害が発生した場合は、主治医・担当医までお知らせください。



ただちにお知らせください！

その他のお願い

あなたの同意を得られた場合のみ

(同意書の中で選択してください)、以下のご協力をお願いしています。

1. 外部機関への寄託・供与
2. 細胞バンクへの登録・保管
3. データベースへの情報提供、登録



細胞や情報を京都大学以外の研究機関に提供することで、新しい技術の開発が進むとともに、今まで不可能であった病気の原因の解明や治療法・予防法の発見が早まる可能性が期待できます。

※あなたのプライバシーは守られますのでご安心ください。

研究成果の発表について

個人情報を除いた上で公表されます

この研究成果は学会発表等で、一般に公開されることがありますが、その際は、外部に個人情報が漏れることのないよう、慎重に配慮します。

研究から生じる知的財産権について

あなたの組織とあなたの組織から作製したiPS細胞を用いた研究の結果により、特許等の知的財産が生み出される可能性があります。それらの権利は全て京都大学が管理します。



同意書／同意撤回の自由について

この研究に参加されるかどうかは、あなたの自由です。
参加いただけなかった場合でも、あなたが不利益を
こうむることは一切ありません。

また、同意をした後でも、その同意はいつでも自由に
撤回できます。

※ただし、外部機関へ提供された後に同意撤回した場合は、
外部機関での研究を途中でやめることはできません。

問合せ先

研究の方法など、この研究への協力についてわからないこと、心配なことがあればいつでも主治医・担当医にご連絡ください。

※ただし、特許等の守秘義務等に関することはお答えしかねます。

